

独立行政法人 造幣局

JAPAN MINT



採用案内
令和8年度版



信頼と挑戦

－貨幣の信認維持と国民生活向上のために－

150年の歴史と伝統を受け継ぎながら、新たな課題に挑戦します



Message

造幣局は、明治4年(1871年)に近代国家として全国統一の新たな貨幣制度を確立するため、大阪の地に開設されました。それ以来、経済活動・国民生活の基盤である貨幣を製造、供給して、日本の発展とともに歩み続け、令和3年(2021年)に創業150周年を迎えました。

造幣局の経営理念は『信頼と挑戦』です。創業期の人たちがそうしてきたように、「何ごととも恐れず挑戦し、どんな困難も乗り越えて行く」という伝統をこれからも受け継いでいく必要があります。造幣局では、新たな課題に前向きに挑戦する若手職員に対しては、その姿勢を高く評価して、失敗を恐れず積極的に挑戦できる環境を整えています。若手時代に自ら考えて試行錯誤し、先輩から叱咤激励を受けながら成し遂げた仕事は言葉にならない満足感を与えてくれます。このような満足感の積み重ねが仕事を面白くし、当事者意識を芽生えさせ、ひいては組織を発展させていきます。経験を重ねるなかで、全てを自分自身の問題と考え、全体の状況を判断しながら自分がどう動けばよいのか常に考えることのできる職員こそが、造幣局の更なる飛躍の原動力になると信じています。

造幣局は平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは行政執行法人として運営していますが、高品質で純正画一な貨幣の確実な製造等の業務を効率的・効果的かつ透明性をもって行うという、社会的使命は何ら変わるものではありません。また、貨幣の製造以外にも、公共性の高い勲章・褒章等の製造や品位証明、企業の要素の高い貨幣セット販売などの事業を行うことで、貨幣の信認維持と国民生活向上への寄与を目指しています。

これからも造幣局は社会の要請と時代にあわせて自らを変革しなければなりません。生活スタイルの変化への対応やワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働き方改革もその一つです。造幣局の未来を描き、未来を切り拓いていくためには、皆さんの柔軟な発想と好奇心、失敗を恐れないチャレンジ精神が力となります。皆さんに大いに期待しています。

是非私達と一緒に、国民の皆さんのために貢献していこうではありませんか。

使命

高度な技術をもって次の事業を確実に実施するとともに、貨幣に対する国民の信頼を維持するために必要な情報を提供し、通貨制度の安定及び国民生活の向上に寄与する

- ✓ 純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給すること
- ✓ 国の文化を象徴する記念貨幣及び技術やデザインを工夫した収集用貨幣セットを販売し、国内外の多様なニーズに応えること
- ✓ 練達した技術により、国家・社会への功績を称えるに相応しい重厚で品格のある勲章や褒章を製造するとともに、精巧で美しい金属工芸品を製造して国民に魅力的な製品を提供すること
- ✓ 高度で確実な技術により、公的主体として品位証明及び精製・分析のサービスを行うこと

組織



令和8年1月1日現在

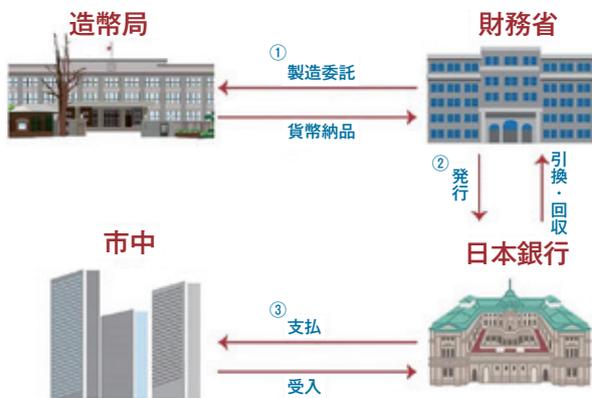
貨幣の製造

時代は変わっても、
貨幣づくりに対する姿勢は
変わりません

造幣局では、500円から1円までの6種類の通常
貨幣を製造しています。

貨幣は、材料を溶解し、圧延・圧穿・圧縁・圧印・
検査工程を経て製造されます。当局では純正画一
で偽造されない貨幣の安定供給のため、製造技術
や偽造防止技術の向上に努めています。

貨幣の製造～流通の仕組み



年度毎の貨幣の製造枚数が財務省において決定され、
造幣局は財務省から製造委託を受け、締結した契約に
基づき貨幣を製造します。

造幣局で製造された貨幣は全て財務省を通じて日本
銀行へ納められますが、この「政府から日本銀行への
貨幣の交付」をもって、貨幣は「発行」されたことにな
ります。

発行された貨幣は、日本銀行から一般の市中金融機
関へ渡り、市中金融機関から皆様のお手元に渡ること
となります。

通常貨幣の製造工程

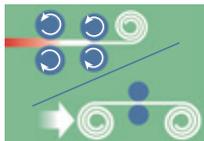


溶解工程

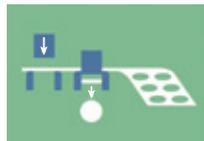
1. 溶解



2. 圧延



3. 圧穿



圧印・検査工程



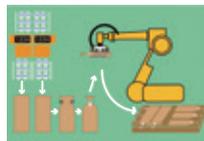
4. 圧縁



5. 圧印・検査



6. 計数・袋詰め



貨幣の偽造防止と安定供給

2021年11月から発行を開始した500円貨幣には、最新の偽造防止技術が採用されています。

偽造防止技術①(微細文字)

切削加工、微細加工の限界に挑んだ技術です。



貨幣の縁の内側にミクロの精密加工で文字が彫られています。
左右「500YEN」 上下「JAPAN」

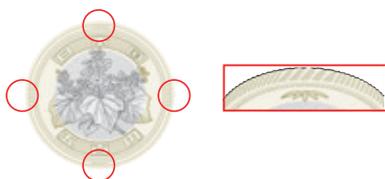
偽造防止技術②(潜像)

貨幣を見る角度の違いによって文字等が見え隠れする技術です。



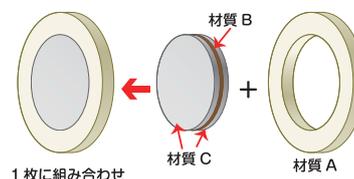
偽造防止技術③(異形斜めギザ)

大量生産型貨幣では世界で初めて導入された技術です。斜めギザの一部に形の違うギザを入れることによって、視認性を向上させると同時に、偽造抵抗力を大きく高めます。



偽造防止技術④(バイカラー・クラッド)

「バイカラー」技術は、リング状の金属の内側に、材質の異なる金属をコアとしてはめ合わせる技術です。「クラッド」技術は、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む技術です。この2つの技術を組み合わせて、1枚の貨幣を製造しています。



記念貨幣の製造

造幣局では、国家的な事業を記念して発行される記念貨幣を製造しています。



左から

- 東京2020オリンピック競技大会記念 一万円金貨幣
- 2025年日本国際博覧会記念 千円銀貨幣
- 国立公園制度100周年記念 千円銀貨幣
- 天皇陛下御即位記念 五百円バイカラー・クラッド貨幣

高度な偽造防止技術の導入

記念貨幣には、現行の通常貨幣で使用している偽造防止技術に加え、さらに高度化された種々の偽造防止技術を導入しています。

虹色発色加工技術

近年製造している記念貨幣等には、虹色発色加工技術が採用されているものがあります。虹色発色加工技術とは、貨幣表面に非常に微細な溝をすることによって、光の回折・干渉を起こし、虹色に輝いて見えるようにする加工技術です。貨幣を見る角度が変わると、加工部が7色にキラキラと輝きながら変化するため、通常の着色などでは表現できない視覚効果を可能としています。

虹色発色加工技術は見た目ですぐに判別しやすい偽造防止技術です。

虹色発色加工のイメージ



新幹線鉄道開業50周年記念
千円銀貨幣

勲章・褒章の製造

匠のこだわりが生み出す勲章 — それは世界に誇れる芸術です

造幣局は、内閣府賞勲局からの発注を受けて、勲章・褒章を製造しています。

勲章・褒章は国家または公共に対し功労のある方や、各分野において優れた行いのある方に授与されるものであり、美麗・尊厳・品格を兼ね備えていることが要求されます。このため、熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。



(A) 桐花大綬章(正章) (B) 大勲位菊花大綬章(正章)
(C) 旭日大綬章(正章) (D) 宝冠大綬章(正章)
(E) 文化勲章 (F) 瑞宝大綬章(正章) (G) 褒章

勲章の製造工程



1 勲章の大きさに打ち抜いた材料板に模様をプレスし、輪郭にそって打ち抜き、切り抜きを行います。



2 ヤスリで形を整えます。



3 七宝が入る部分に「ゆう葉」を盛り付けます。その後、電気炉に入れて「ゆう葉」を焼き付けます。



4 ぼふ羽布で研磨して光沢を出し、必要な部分には金メッキをします。部品を組み立てて完成です。

Point 《機械の導入による効率化》

■ 機械の導入例

七宝自動盛り付け機による盛り付け作業

一部の勲章については、七宝ゆう葉の盛り付けに自動盛り付け機を導入し、効率的に作業を行っています。

自動研磨機による研磨作業

ゆう葉を焼き付けた後、表面を滑らかにするために作業者が砥石で研磨をしていますが、一部の勲章については自動研磨機を導入し、効率的に作業を行っています。

勲章の製造については、培われてきた伝統技術の確実な維持・継承に取り組むとともに、機械の導入などによる一層の効率化を図っています。



金属工芸品の製造

金属工芸品製造に用いる高度な技術は、
貨幣製造技術の維持・向上に寄与します

〔虹色発色加工技術の場合〕



皆様のニーズに — 伝統の技が応えます

造幣局では、公共性の高い金属工芸品を受注製造するほか、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上のため、金属工芸品の製造を行っています。

■ 金属工芸品の数々



国民栄誉賞



東京オリンピック入賞メダル(金)



札幌冬季オリンピック入賞メダル(金)



長野冬季オリンピック入賞メダル(金)



七宝章牌「高岡御車山祭」



純金千支メダル(午)



国宝章牌「鳥獣人物戯画」(銀)



令和7年桜の通り抜け記念メダル(銅)

貨幣セット等販売



令和8年銘記念日貨幣セット

あの日、あの時の『感動』をカタチに
— 永遠に刻む力があります

造幣局では貴金属を用いた金貨幣や銀貨幣を製造しており、これらの貨幣は、製造に要する費用が額面を超えるプレミアム貨幣として販売しています。このほか、未使用の500円から1円までの通常貨幣と年銘板（製造年を示すメダル）をケースに収めた多種類の貨幣セットを販売しています。



桜の通り抜け2025ブルーフ貨幣セット

Point 魅力的な製品開発を目指して

「ゴジラ」は、老若男女問わず国内外の多くの人々から親しまれており、第1作目の映画公開から令和6年で70周年を迎えました。造幣局ではこれを記念した貨幣セットを販売し、多くのお客様からご好評をいただきました。

造幣局は、ほかにも記念行事や世界遺産等様々なテーマを用いた、魅力的な製品開発に力を入れています。



ゴジラ70周年貨幣セット



ゴジラ70周年2024ブルーフ貨幣セット

TM&© TOHO CO.,LTD.

Fineness Certification of Precious Metal Wares, etc.

貴金属製品の品位証明等

公平・中立な化学の眼 — それが安心を提供します

貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている業者からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したのものには、証明記号（マーク）を打刻してその品位を証明しています。

この品位証明記号を通称「ホールマーク」といい、国民の皆様からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

また、貨幣材料の分析及び試験で培ってきた技術を応用した各種分析及び試験を行っています。



海外業務

世界に学び学ばれ、
海外に広めたい技術と熱意があります

世界造幣局長会議をはじめとした国際会議に積極的に参加し、最新の貨幣製造・偽造防止技術等について、各国の造幣局や通貨当局等との情報交換を行っています。

世界の造幣技術の発展のために情報交換を行っています

■ 世界造幣局長会議

(MDC : Mint Directors Conference)

各国の造幣局長が出席する国際会議で、貨幣に関連する諸問題や共同解決等に関する情報交換の場となっています。具体的には、製品開発、工程改善、販売等における取り組み事例や貨幣を取り巻く各種状況等についてセッションが設けられ、各国の造幣局から成果や調査結果等が発表されます。

■ ワールド・マネーフェア（WMF）への参加

ワールド・マネーフェアは、毎年ドイツで開催される記念貨幣等についての世界最大規模のトレードショーで、造幣局も毎年参加してブースを出展するほか、さまざまな国の造幣局やメーカー、貨幣販売業者と意見交換を行っています。

■ 海外との情報交換

造幣局は、海外の造幣局や国立銀行等からの視察や研修を積極的に受け入れています。また、造幣局の職員が各国の造幣局を訪問して意見交換や技術交流を行い、諸外国の貨幣動向や技術について情報収集をしています。



MDCオタワ2023



貨幣販売業者との意見交換



海外での技術交流

外国貨幣の製造を通して、海外の友好国との関係を深めています

海外の友好国へ貨幣の受注活動を積極的に展開しています。

平成24年に戦後初めて一般流通貨幣であるバングラディシュ2タカ貨幣の製造を受注したほか、令和5年には日本とカンボジアの友好70周年を記念する銀貨幣を受注するなど、多くの国々の記念貨幣を製造しています。

海外から貨幣を受注し製造することは、その国との友好関係を深めることに大いに貢献するものであり、造幣局の存在意義は大変高まっています。

「日カンボジア友好70周年」記念カンボジア5,000リエル銀貨幣
カンボジア首相への贈呈（令和5年12月）



(写真提供 内閣広報室)

新規採用職員インタビュー



総務部 広報課 係員
令和7年
【一般職（行政）】

Message 学生のみなさんへ

私がこのパンフレットを見て興味を持ったように、皆さんにとって少しでも造幣局が魅力的だと感じるきっかけになれば幸いです。就職活動は迷ったり悩んだりすることもたくさんあると思いますが、広い視野で、多くの選択肢に触れてみてほしいです。その先で造幣局を選んでいただけたらとてもうれしく思います。

● 造幣局を志望した理由

国家公務員試験を受験後、就職活動を行う中で説明会に参加したことをきっかけに造幣局に興味を持ちました。私は職歴があり、民間企業で商品企画や販売の経験があったため、貨幣セットや金属工芸品の企画・販売を行う造幣局の業務に親近感を持ち、自身の経験や力を発揮したいと思い、志望しました。また、説明会に参加した際に感じた、職員の方々の温かい雰囲気も志望した理由の一つです。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

面接で志望動機を伝える際は、自分の強みをどういった部門でどのような業務に生かすことができるかなど、具体性を持って話すよう意識していました。また、話す内容を事前に固めすぎず、その場で聞かれたことに対して素直に自分の言葉で伝えるよう心掛けていました。

● 現在の業務内容

広報課で主に『時報』（造幣局社内報）の制作を担当しています。『時報』は毎月発行しており、月毎の企画立案や関係先への取材、構成や原稿作成などを行っています。取材を通して局内の様々な部門との関わりが多く生まれるため、造幣局の事業をより知ることができる、やりがいのある業務だと感じています。他にも、メディアからの取材対応や外部イベントへ出張した際の運営業務等も行っていきます。

● 入局前後のイメージの変化

公務員ということもあり、ルーティンのような決まった業務が多いのでは、というイメージがありました。しかし、実際は自分の考えやアイデアを取り入れながら柔軟に進めていけるような業務もあり、楽しみながら取り組むことができています。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

分からないことがあった時や困った時は、すぐに質問できる環境です。入局してすぐの頃、様々な部署の先輩方から何気なく声をかけていただく機会も多かったです。部署の垣根を越えて、話しやすく頼りやすい雰囲気だと思います。また、できるだけ様々な部署の方々と関わりを持って顔を覚えてもらえるよう意識していました。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

現在の担当業務のプロフェッショナルになりたいという思いはもちろん、その他の部門でも活躍できる職員になりたいです。幅広い造幣局の事業をより深く知り、多くの部署や人と関わりを持って、多くの方から頼られるような人になりたいと考えています。

● 造幣局を志望した理由

貨幣の信頼を守り、経済の根幹を支えるような仕事がしたいと思い、造幣局を志望しました。また、他の省庁と異なり、記念貨幣等の製造販売を行うといった民間企業のようなチャレンジ精神あふれる業務に携わることができる点にも魅力を感じました。加えて、説明会などに参加した際の職員の方々の雰囲気が心地よく、一緒に働きたいと感じた点も大きいです。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

筆記試験に関しては、過去問集を一冊購入してそれを全て解けるようにしておけば問題ないと思います。面接に関しては、自分自身の言葉で話さないと面接官に人となりが伝わらない点と、自分の性格に合った職場で働きたいという点から、なるべく自然体で臨むことを意識しました。

● 現在の業務内容

私が所属している販売事業課では、造幣局で販売している製品の販売実績や作業実績の入力、金属工芸品の受注・発送に係る事務、ミントショップ（造幣局構内の販売所）で販売する製品の準備や書類作成などの業務を行っています。また、倉庫内の在庫管理も担当しており、さいたま支局や広島支局の販売担当職員と連絡を取り合い、在庫切れを起こさないよう、本支局間での在庫移動を行っています。

● 入局前後のイメージの変化

採用区分上、業務内容は事務作業ばかりだと思っていましたが、製品の準備や資材搬入出の立ち合いなど、机の上だけでは完結しないものが多くありました。また、入局前までは事務所と現場の間で壁があるのではないかと考えていましたが、現場の方は優しくフランクに接してくださり、とても働きやすい環境です。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

配属当初は右も左も分かりませんでしたが、同じグループの上司や先輩方をはじめ、他のグループの方々も親身になってご指導くださり、事務そのものだけでなく、仕事の進め方や仕事に対する姿勢を身に付けていくことができました。また現場の方々も、製品への理解が乏しい私に対して、実際に製品に触れて学ぶ機会をくださいました。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

今後、様々な部署に異動することになりますが、その先で知識を吸収し、早く一人前の職員になりたいです。また、局全体の仕事についての理解を深め、局に貢献できる人材になるために、今は自分の業務を丁寧かつ確実に進めていきたいです。



事業部 販売事業課 係員
令和7年
【一般職（行政）】

Message 学生のみなさんへ

国家公務員と一口に言っても多くの選択肢があり、進路に迷っておられると思います。説明会に積極的に参加したり、信頼できる人に相談したりして、自分の納得のいく答えを見つけてください。しんどいことも多いと思いますが、たまには息抜きもして頑張ってください！造幣局に就職された際には、一緒に頑張りましょう！

●造幣局を志望した理由

私が造幣局を志望した理由は大きく二つあり、一つは就職活動を行う上で、「一人でも多くの人のために働く」ことができる仕事をしたということと、もう一つは伝統ある仕事をしたということでした。この二つの軸を持って就職活動をしているときに、造幣局が目にとまりました。私たちが日常的に触れている硬貨の製造に携われること、明治4年から続く場所で仕事ができることは、私自身とても魅力に感じたからです。

●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

技術系(理系)の筆記試験は、参考書が少なく、何から勉強を始めればよいのか、試験範囲だけを見てもよく分からなかったため、過去問を見て、毎年の合格点から逆算し、勉強を進めました。面接については、想定問答を用意するだけでなく、面接官とコミュニケーションを取ることを意識していました。

●現在の業務内容

情報システム課でシステム管理を担当しており、職員が日々の業務で使用するパソコン及び情報処理機器等の管理・調達が主な業務です。また、業務中のパソコンの不具合等にも対応しています。専門的な知識を必要とする場面も多くありますが、丁寧に上司・先輩の方が教えてくださったり、定期的に気にかけてくださったりするので、安心して業務に臨むことができます。

●入局前後のイメージの変化

入局前は、「造幣局=貨幣製造」という認識が強かったのですが、入局後は、新規採用職員研修での現場研修などから、貨幣製造の他にも幅広い業務があることを知りました。また、多くの人と関わりながら仕事ができるということも、とても新鮮に感じています。

●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

とても雰囲気が良く、困ったことがあれば、上司・先輩方が業務のことに限らず相談に乗ってくださいます。また、研修を通して同期とのつながりを持つことができるので、それぞれの部署に配属された後でも安心して業務に取り組むことができる点も、職場の雰囲気の良さに結びついていると思っています。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

様々な部署への異動を経験し、それぞれの部署で新しい業務に携わりながら、知識・技能を習得し、周りの人から頼られる職員になりたいです。そのために、今取り組んでいる業務がどの規程に基づくものかを理解しながら、業務を行う必要があると考えています。



総務部 情報システム課 係員
令和7年

【一般職(デジタル・電気・電子)】

Message 学生のみなさんへ

皆さんが思っている以上に造幣局は多岐にわたる業務を行っているため、少しでも興味を持っていたら幸いです。就職活動は、自分自身の進路を決める上で大きな選択になると思いますが、たくさん悩んで、自分なりの正解を見つけてほしいと思います。

●造幣局を志望した理由

国家公務員の合同説明会に参加したことがきっかけです。大学では化学を専攻していたので、製造業で生かせる知識があるかもしれないということや、本局が大阪にあることに魅力を感じました。説明会で職員の方々の話を聞いて、自分に合った働き方ができるのではないかと感じ、造幣局を志望するに至りました。

●就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)

筆記試験については大学での知識をしっかり復習して幅広い分野の基礎を固めておくことが大切だと思い勉強していました。過去問などを解いておくことで、落ち着いて本番に挑むことができました。国家公務員試験や官庁訪問のスケジュールをしっかり確認しておくことも大切なことだと思います。

●現在の業務内容

私が所属している試験鑑定課では、貨幣や勲章の材料となる金属の品位(純度)の分析や、品位を証明する記号(ホールマーク)を金属工芸品に打刻する作業を行っています。また、工場排水に有害物質が含まれていないかどうかの分析もしています。私はそれらの作業が円滑に進むように、薬品や器具の購入、事務書類の作成、分析機器の修理点検、分析試料の受け払いなどを日頃の業務として行っています。

●入局前後のイメージの変化

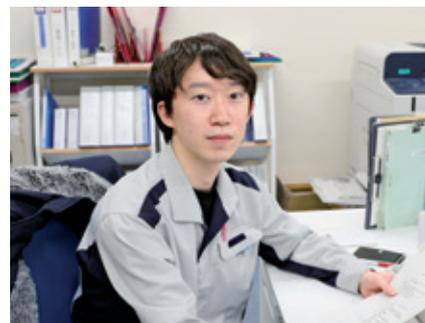
入局前は貨幣製造の印象が強かったのですが、入局後は貨幣製造以外にも様々な業務があることを知りました。また、デスクワークだけではなく現場での作業を手伝うこともあり、部署ごとの特色でいろいろな業務の幅があることを知りました。

●職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)

試験鑑定課では分析作業を行う現場職員とそれを支える事務職員が協力して業務を行っています。誰でも気軽に質問できる雰囲気があり、安心して分からないことを聞くことができます。局内では季節ごとに催し物が開催されるので、所属部署を越えて交流できます。

●造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは、担当業務をしっかりとこなせるように頑張っていきたいです。業務をしていく中で経験を積み、様々な視点から物事を観察できるような人材になりたいと考えています。また、必要に応じて業務を改善したり効率化させたりできるような能力を身に付けて成長していきたいです。



研究所 試験鑑定課 係員
令和7年

【一般職(化学)】

Message 学生のみなさんへ

様々な企業や官庁の説明会に参加して、自分が働きたいと思える場所を探し出せるように頑張ってください。何か興味のある分野などがあれば、恐れずにチャレンジしていくことも大切だと思うので、悔いのない学生生活を過ごしてください。

先輩からのメッセージ 入局して間もなく10年。今、感じることに！



事業部 装金極印課 主任
令和2年
【総合職（工学）】

貨幣の製造に携わること

●現在の業務内容

装金極印課では、主に種印や極印と呼ばれる、貨幣やメダルの模様となる金型の製造を行っています。造幣局の製造部門には「現場」と「事務所」という区分があり、「現場」では実際の製造作業を、「事務所」では製造に必要な事務作業を行っています。その中で私は「事務所」で勤務しており、作業伝票の作成、物品の受け渡し、機械の購入・修理・保守点検に係る資料の作成、及び作業報告書の作成などの仕事を主にしていますが、これ以外にも現場で突発的な問題が発生した場合には、臨機応変に対応しています。

●仕事をする上で心掛けていること

仕事をする上で心掛けていることは、コミュニケーションの大切さを常に意識することです。相手の話を丁寧に聞き、自分の考えも分かりやすく伝えることで、誤解を防ぎ、円滑に仕事を進めることができるよう努めています。また、責任感を持って仕事に向き合い、状況に応じて柔軟に行動することも重要だと感じています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

やはり、自分の課で製造した種印や極印（金型）を使用して作製された貨幣やメダルが発行されたことが一番印象に残っています。私は事務職員のため、実際に自分の手で金型を製造しているわけではありませんが、間接的であっても自分が仕事で携わった製品が世に出て、皆様に喜んでもらっているのを見聞きすると、大変うれしく思いますし、この仕事をしていてよかったなとやりがいを感ずきます。

ある日のスケジュール

8:00	出勤・朝礼
8:15	メールチェック・返信
8:45	作業伝票の作成
10:00	物品の受け渡し
12:00	昼休み
13:00	作業報告書の作成
15:00	決裁の作成
16:30	退庁

Message 学生のみなさんへ

就職活動は不安なことも多いかと思いますが、せっかくの機会ですので、自分を信じていろいろな分野に挑戦してみてください。その中で造幣局に興味を持っていたら、ぜひ業務説明会や工場見学、職業体験プログラムなどに参加していただければと思います。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

Message 学生のみなさんへ

「百聞は一見にしかず」ですので、積極的に説明会等に参加することをお勧めします。造幣局は、製造・販売業務にも携わることができる公務員としては珍しい組織であり、他の組織では経験できない業務が多くあります。業務説明会や工場見学を通して業務内容を知っていただき、造幣局の雰囲気も感じていただければと思います。

ある日のスケジュール

9:00	出勤・メールチェック
10:00	収支見込みの作成
12:00	昼休み
13:30	予算策定に係る打ち合わせ
15:00	幹部レクチャー
17:30	退庁

組織経営の一端を担う

●現在の業務内容

経営企画課では、「組織機構や配置人員枠の見直し」「予算や収支見込みの作成」「施設及び設備投資に関する計画の策定」等の造幣局経営に関する業務を行っています。その中で、私は主に予算や収支見込みの作成業務を担当しています。予算や収支見込みは経営判断の材料として重要なものであり、様々な情報を総合的に勘案した上で適切に作成することが求められます。そのため、組織内部の動向について把握するのはもちろんのこと、社会情勢などについても普段から情報収集するようにしています。

●仕事をする上で心掛けていること

業務の目的や意図を意識しながら取り組むことを心掛けています。業務の中には前例踏襲で進められるものもありますが、過去の進め方が本当に効率的なのか、自分の知識や経験を生かしてより良い結果を導くことはできないのか、ということ意識して業務パフォーマンスの向上を目指しています。何か気づいたことがあれば上司や同僚に相談し、様々な人の意見も取り入れながら改善するようにしています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

出向先の財務省において、国家予算と財政関連の法令との整合性を確認する業務に携わっていました。業務を進めるには法令をよく理解する必要があるため、担当者へ聞き取りを行ったり、法令の解説書を読み込んだりしたことを覚えています。日本の中枢機関で働くことはプレッシャーもありましたが、その分やりがいも大きかったです。財務省での経験は自分自身が成長する良い機会になったと感じており、集めた情報を整理して分かりやすく説明する力は、現在の造幣局での業務においても役立っています。



総務部 経営企画課 係員
令和2年
【一般職（行政）】



広島支局 保全課 主任
平成 28 年
【一般職 (デジタル・電気・電子)】

設備の安全稼働を第一に

●現在の業務内容

広島支局保全課では、工事の設計・監督、建物・機械設備の点検修理、そして電気・ガス・水道等のライフラインや樹木の維持管理に関する業務を行っています。私の担当は主に、各設備の保守点検作業を外部業者へ委託する際、仕様書の作成など発注に向けて手続きをして、施工監督を行うことです。また、広島支局にのみ設置されている溶解・圧延設備は、貨幣製造の最初の工程で使用される重要な設備であることから、予防保全体制を導入し安定稼働に努めています。その一環として各職場と修理作業の実施状況の確認を行う会議を定期的で開催しており、会議資料の作成も行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

業務の性質上、毎年行っている設備の点検の手続き等、前例踏襲で進めることが多いのですが、なぜこの点検を行わないといけないのか、しっかりと自分の中で整理し、落とし込んでから手続きを進めるようにしています。前回も同じように実施しているからという気構えで済ませてしまうと自分の成長にもつながりません。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

広島支局に転勤し、配属となった貨幣第一課での仕事です。早番と遅番の2交替制勤務という少し特殊な環境の中で、製造部門の仕事に初めて携わるということもあり、不安でいっぱいでした。製造ラインが一つしかない設備もあり、不具合により機械が停止してしまうと後工程にも大きな影響を与えてしまうため、安定稼働が何より求められる部署でした。必要な修理・点検の実施、部品の購入に係る事務作業が多く、苦勞することも多々ありましたが、上司や現場職員の方とコミュニケーションを取りながら、一つ一つ確実に実施していき、各工程の抱える問題を解決していった日々は、今でもとても印象に残っています。

ある日のスケジュール

8:30	出勤
9:00	設備点検の立ち会い
12:15	昼休み
13:00	仕様書の作成
14:30	製造部門との会議
17:00	退庁

Message 学生のみなさんへ

貨幣を取り巻く環境はこの数年で大きく変化していますが、造幣局はそのような時代の変化を受け入れつつ新たな課題に挑戦していこうとしており、いろいろなことにチャレンジできる環境が整っています。造幣局のモノづくりに興味を持たれた方、チャレンジ精神あふれる方、ぜひ一緒に働いてみませんか。



研究所 研究開発課 主任
平成 29 年
【一般職 (化学)】

造幣局の技術力向上への貢献

●現在の業務内容

研究開発課では、造幣局の事業に関する技術の研究をしています。その中で、私は金属の分離・精製に関する調査研究等を行っています。研究を進めるにあたっては、論文を読んだり、学術学会へ参加したりして、現在の研究がより進展するよう情報収集に努めるとともに、収集した情報を活用し、研究チームのメンバーと協力しながら、造幣局の技術力向上に貢献できるよう日々研究に励んでいます。

●仕事をする上で心掛けていること

報連相を大切にしています。こまめに上司や同僚、関係部署等とコミュニケーションを取ることで、円滑に業務を進めることができているからです。また、上司からの指示等で不明な点がある場合は必ず確認するようにし、齟齬が生まれトラブルやミスにつながらないように心掛けています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

財務省への出向も含めて、これまで様々な部署を経験しましたが、現在所属している研究開発課での調査研究が印象に残っています。研究を進めていくうちに、思いどおりの結果が得られないことが何度かありましたが、自分の考えだけにこだわらず、上司や同僚の意見も取り入れながら対応策を考え実行し、良い結果が得られたときは大きな達成感がありました。改めて、固定観念にとらわれず多角的に物事を考える大切さを学びました。

ある日のスケジュール

8:00	出勤・メールチェック
8:15	課内ミーティング
9:00	研究チームで実験内容に関する打ち合わせ
9:30	実験開始
12:00	昼休み
13:00	実験結果まとめ・考察
15:00	決裁文書の作成
16:30	退庁

Message 学生のみなさんへ

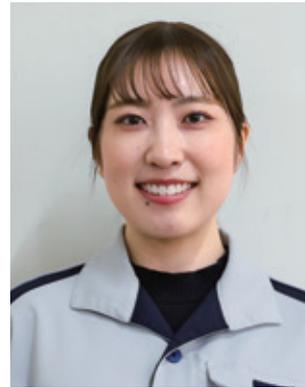
造幣局に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会や工場見学に参加してみてください。パンフレットの情報だけでは分からない造幣局の雰囲気を肌で感じることでできる良い機会だと思います。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。

若手職員の1日



事業部 製品開発課 係員
令和5年
【一般職(行政)】

○職務紹介
事業部製品開発課では、販売事業に関する中長期的な企画及び立案業務や、貨幣セット及び金属工芸品の企画開発業務を行っています。



総務部 人事課 係員
令和4年
【一般職(行政)】

○職務紹介
優れた技能を有する職員を外部の表彰機関へ推薦するにあたり、局内外の関係者との調整や推薦書類の作成等の表彰事務を行っています。

9:00 出勤

企画開発業務には、局内関係部署だけではなく、版權元との調整が必要な業務もあります。出勤後はメールを確認し、新たな依頼や連絡事項が届いていないかを確認します。



10:00 企画書の作成、版權元との調整

販売予定製品について、版權元への企画書を作成します。出張やオンラインでの打合せ等により企画提案を行い、仕様や契約内容等の調整を行います。

12:00 昼休み

お昼ご飯は同期と食べています。趣味の話で盛り上がる事が多く、午後の仕事の前の良い気分転換になっています。

13:00 デザイン担当者との打合せ

デザインを担当する事業部工芸課と打合せを行います。版權元からの要望、商品化ガイドラインがある場合は、それも伝えま



15:00 図案の確認

工芸課から提出された図案について、製造面及び知的財産面で問題がないか、打合せの内容が反映されているかを確認します。

16:00 製品サンプルの校正

業者より受領した製品サンプルが図案どおりに製造されているか、色校正及び文字校正を行います。



17:30 退庁

退庁後は友人と食事に行ったりするほか、のんびり映画を観たりします。

8:30 出勤

まずはパソコンを立ち上げ、新規の案件や緊急の依頼が届いていないかメールを確認し、1日の業務の優先順位を決めます。

9:30 受賞報告会の準備

職員の受賞について幹部に報告をします。会議室の机や椅子を報告会用にセッティングし、資料を机上に配付します。

11:00 受賞報告会の進行

参加者への事前説明や、写真撮影の誘導などを行い、報告会の円滑な進行に努めます。また、次回以降の参考として、参加者の発言や進行時間を記録しておきます。



12:00 昼休み

普段はデスクでお弁当を食べますが、毎週水曜日は同期と食堂へ行きます。お互いの近況や趣味の話をして、週後半を乗り切るパワーをもらっています。



13:00 関係部署へ推薦依頼

外部の表彰機関からの推薦依頼に基づき、推薦要領や締切期限を確認の上、関係部署へ推薦候補者の選定を依頼します。

15:00 推薦書類の作成

被推薦者の所属課から提出された推薦書類を確認します。造幣局特有の専門用語もあるため、審査員に伝わりやすいように文章の構成や表現を丁寧に推敲します。



17:00 退庁

退庁後は、スーパーマーケットで買い物をして晩ご飯を作っています。コンビニエンスストアに寄ってついアイスを買ってしまうことが多々あります。



貨幣部 施設課 係員
令和6年
【一般職(技術)】

○職務紹介
主に造幣局が所有している建物や設備の保全に係る事務を行っています。また、外部業者に作業を委託する場合には監督業務も行っています。



広島支局 溶解課 係員
令和6年
【一般職(機械)】

○職務紹介
市中から回収した古くなった貨幣や他の工程で発生した屑板等を溶かし、貨幣の材料となる鑄塊を製造しています。

8:00 出勤(朝礼、メール確認等)
メールを開き、業者から見積書等が届いていないかを確認します。その後、現場の準備体操と朝礼に参加し、連絡事項等を報告します。

9:00 物品購入の手続き
現場から購入希望があった物品について、業者から見積書を入手し、購入するための事務手続きを行います。

10:30 外注案件の監督業務
外注業者に委託している樹木の剪定作業について、業者が契約書、仕様書等に基づいて作業をしているかを確認します。必要に応じて作業上の指示も行います。



12:00 昼休み
デスクでお弁当を食べます。バレーボール部に所属しており、昼の休憩中に練習があるので、食後は体育館に向かいます。



13:00 会議への参加
他部署や係との業務連絡会議に参加し、施設課が行う設備点検の日程調整をしたり、新しい設備の導入について打ち合わせを行ったりします。



14:00 仕様書の作成
外注業者に点検作業等を依頼する際に使用する仕様書を作成します。業者は仕様書に基づいて作業を行うため、記載内容の抜け等がないか細かく確認しながら作成します。

16:30 退庁
バレーボールをしたり、ジムに行ったりして体を動かします。

15:15 出勤(引継ぎミーティング、メール確認等)
溶解課は2交替制の職場で、夜勤の日は15時15分始業になります。メール確認のほか、日勤での作業進捗やトラブル等について、事務職員と現場職員を交えて引継ぎを行います。

16:00 点検報告会
溶解課は鑄塊の製造に関わる設備を多く保有しているため、定期的に保全課や外注業者に点検を依頼しています。点検の結果報告を受け、修理の必要があれば速やかに手配を行います。

17:30 決裁文書・報告書の作成
溶解課の作業で使用する物品の購入や設備点検、設備修理についての決裁文書を作成します。また、点検や修理に立ち会った際には報告書を作成し、溶解課内で情報共有します。



19:00 休憩時間
溶解作業にトラブルがなければ、皆で集まって夕食を取ります。世間話や趣味の話に花が咲くことが多く、リラックスできる時間です。

21:00 出湯終わり作業の立ち会い
出湯終わり作業(溶解炉で溶かした金属を鑄型に流し終える)の立ち会いを行います。1000℃近くの金属を扱うため、現場には緊張が走ります。

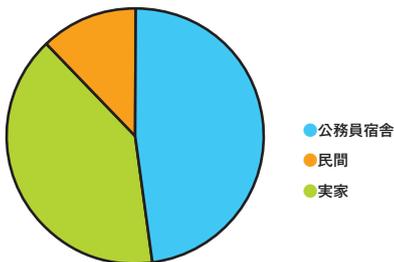


22:30 鑄塊検査
当日に製造した鑄塊について、次の工程でトラブルになる要素がないか検査します。些細なことでも次の工程に影響を与える場合があるので、1本ずつ丁寧に確認します。



23:30 退庁
夜勤の場合は夜遅くの帰宅になりますが、朝をのんびりと迎えられるので、翌日の予定を考えつつ就寝します。

Q1 どんなところに住んでいますか？

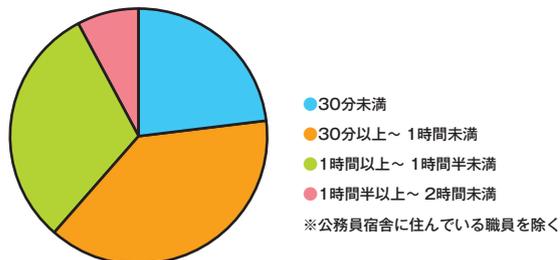


公務員宿舎に住んでいる方が多いですが、住居手当もあるので、宿舎から民間の賃貸物件に引っ越す職員も少なくありません。

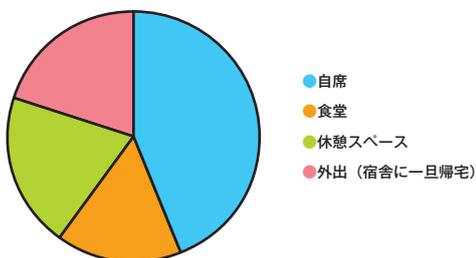


1時間未満の方が多くという結果に。公務員宿舎の場合は15分未満で通勤可能です！

Q2 通勤時間はどのくらいですか？



Q3 ランチはどうしていますか？



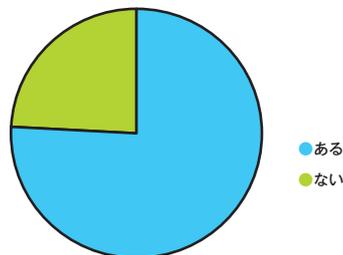
食堂や休憩スペースで、先輩や同期と一緒にご飯を食べている職員も多くいます！



Q4 入局前後でギャップを感じたことはありましたか？

＼ギャップがあると感じたこと／

- ・ お堅い印象だったが、気さくで話しやすい職員が多い
- ・ 事務所と現場の距離感が近い
- ・ 想像以上に業務の幅が広い
- ・ デスクワークだけではなく、他部署を回ったり出張したりする機会がある
- ・ 制服があるため通勤時の服装に自由が利く



ギャップがないと回答した職員からは「説明会での雰囲気どおり、穏やかな職場」という意見もありました。



制服がありますが、私服（オフィスカジュアル）での勤務も可能です。工場では安全のため制服を着用しています！



Q5 退庁後や休日の過ごし方は？

旅行や買い物、
機械の手入れ

漫画、アニメをひたすら
読みます！



バイクで社寺に行き、
御朱印集めをしています。

休日にスーパー銭湯へ
行くことにハマっています！



友達や家族と買い物、
ご飯に行ったりしています。

休日はお散歩したり、
友達と話しながら
ゲームをしたり
しています。

休日は、旅行に行きます。
三局とも観光地が近く
あるので、リフレッシュに
おすすめです！

ドライブ

推し活や海外旅行



ジムや野球観戦など

退庁後は予定を合わせて
同期会を開催しています。
土日は日帰りや1泊で
サクッと旅行することが
多いです！

Q6 造幣局を志望した理由、または選んだ決め手を教えてください！

公務員でありながら、
モノづくりに携わる
ことができる

貨幣という、誰もが日常で
使ったことのあるものに
携わることができる

本局が大阪にあるから

学生時代に学んだ理系
としての知識を生かせると
感じたから

実生活において、イメージしやすい
ものを取り扱っているから

150年以上の歴史を持つ
組織や建物に魅力を感じたから

公務員でありながら販売事業のような
民間っぽい業務があるところ

面接の際の雰囲気や桜の
通り抜け等で馴染みがあったため

造幣局と一緒に
働きませんか？

学生時代の専攻や
関心を生かす場が
あるため

公務員でありながら
民間のような仕事が
できる職場でもあるため



説明会等で職員の方々に
優しく接していただいたから



貨幣部 貨幣極印課 係長
平成 27 年【総合職(工学)】

●仕事と家庭の両立にあたり 問題や不安はありましたか？

仕事のプランクに加え、慣らし保育が終わる気配がなく不安でしたが、周りからのサポートのおかげでスムーズに職場に復帰することができました。復帰後も、いろいろな方が気にかけてくださり心強かったです。

●利用した支援制度は？

(産前産後の付き添い、育児休業等)

「産前・産後休暇」「育児休業」を利用しました。職場に復帰してから子どもの小学校入学までは、「早出遅出勤務」と「保育時間」「育児時間」を組み合わせで勤務していました。また、子どもが病気の際には「子の看護等休暇」を利用しています。

●仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

子どもが病気にかかり急に休むことがあるので、業務が滞らないよう、仕事を一人で抱え込まず情報を共有することを心掛けています。また、普段からコミュニケーションを取るよう心掛けています。

●支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？

「育児休業」を利用して、子どもの世話を専念して充実した時間を過ごすことができました。また、職場復帰後は支援制度を利用して終業時刻より早く帰ることができたので、通常の保育時間内に子どもを迎えに行くことができ大変助かりました。

Message 学生のみなさんへ

造幣局にはワーク・ライフ・バランスを大切にする職員がたくさんいます。休暇も取りやすく、自分が思い描く未来に向けて時間を使うことのできる職場環境だと思います。ぜひ、皆さんも造幣局と一緒に働いてみませんか。



仕事と育児の 両立のための 行動計画メニュー (女性職員の場合)

Work-Life Balance



深夜勤務及び時間外勤務の制限
健康診査等のための職務専念義務免除
業務軽減等
休息、補食のための職務専念義務免除
通勤緩和

産前休暇	産後休暇
------	------

産前産後の付き添い等	保育時間
------------	------

産後パパ育休

育児休業、育児短時間勤務、育児時間、早出遅出勤務、超過勤務の制限等については、配偶者の就業等の状況にかかわらず、取得できます。

子の看護等休暇は、中学校就学前までの子について取得できます。負傷や疾病にかかった子の世話のほか、感染症に伴う学級閉鎖や入園式などの式典に参加する場合も取得できます。

妊娠

出産

0歳

1歳

●育児だけではなく、介護についても同様に休暇等制度が利用できます。

● **仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？**

休業から復職する際、スムーズに業務に戻れるかが不安でした。しかし、職場の方々が協力してくださり、休業中に私の担当業務を対応していただいた上で、復職時に休業期間中の出来事や業務の現状を丁寧に引き継いでくださったおかげで、無事に復帰できました。

● **利用した支援制度は？**

(産前産後の付き添い、育児休業等)

第1子と第2子誕生の時は「出産時付き添い休暇」と「男性育児休業」を、第3子と第4子誕生の時は加えて約1か月間の「男性育児休業」も利用しました。また、子どもが体調を崩したときは「子の看護等休暇」も利用させていただいており、とても助かっています。

● **仕事と家庭の両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？**

子どもの看護のため急に休まざるを得ないときがあります。そのため、業務を一人で抱え込まず周囲へ情報共有する、業務はため込まず優先順位を決めて締め切りが近いものから対処する、ちゃんと感謝を伝えるなどといった社会人として基本のことはありますが、基本ほど確実に実行することが大切だと心掛けています。

● **支援制度を利用してよかったと思う点は何ですか？**

1か月間の「男性育児休業」では、新生児期という二度とない貴重な時間を一緒に過ごせたことが、かけがえのない思い出になりました。また、上の子どもたちともこれまで以上にじっくり時間をかけて触れ合えたので家族の絆が深まったと思います。



総務部 経営企画課 主事
平成 25 年【総合職(工学)】



Message 学生のみなさんへ

4人の子育ては大変ですが、子育てをすることで初めて得られた知識・経験・人間関係が良い刺激となって生活の張り、そして仕事へのモチベーションにつながっています。モチベーションづくりの方法は家庭だったり趣味だったり人それぞれです。試行錯誤しながら自分に合う方法を見つけて、これから始まる長い社会人生活を精力的に頑張っていってほしいです。

男性職員も、産前産後時の休暇や育児のための各種休暇等制度が利用できます。



育児休業取得率
男性 42.9%
女性 100%
(令和6年度実績)

長さは取得可能期間を示します。

母性保護のための制度 (女性)
出産時のための制度 (女性)
出産時のための制度 (男性)
育児のための制度 (女性・男性)

早出遅出勤務は、小学校入学後も放課後児童クラブ等に通う子を送り、または迎えに行く場合にも利用できます。

育児休業

育児短時間勤務

育児時間

早出遅出勤務

深夜勤務、超過勤務の制限及び超過勤務の免除

子の看護等休暇

2歳

3歳

4歳

5歳

6歳

採用関係情報

給与

◆初任給（大阪市で勤務する場合の地域手当を含む）

総合職（院卒者）	280,940円
総合職（大卒）	266,442円
一般職（大卒）	255,432円
一般職（高卒）	220,530円

※令和7年度実績

◆各種手当等

地域手当、扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当などが支給されます。

また、賞与（期末手当・奨励手当）も年に2回支給されます。

勤務時間・休暇

◆勤務時間

部門によって勤務時間は異なりますが、いずれも7時間45分勤務（休憩時間は45分）です。また、部署によっては在宅勤務や時差勤務も可能です。

庁舎・管理部門 9：00～17：30

製造部門 8：00～16：30

◆休日

土・日・祝日及び年末年始（12/29～1/3）

◆休暇

年次休暇（年20日付与）、病気休暇、介護休暇、特別休暇（夏季・結婚・ボランティアなど）

福利厚生

◆共済制度

造幣局採用と同時に財務省共済組合の組合員となります。病気、負傷、出産時等には短期給付、退職後には年金として給付される長期給付を受けることができます。

◆宿舍

本局（大阪）、さいたま支局、広島支局のいずれにも宿舍が用意されています。

◆サークル活動

野球、バレーボール、テニス、音楽、茶道や書道など、様々なサークルが活動しています。

各種団体が主催する大会にも参加し、優秀な成績を収めています。

キャリアパス

入局後、事務系職員は総務部門や販売部門、技術系職員は製造管理部門や工場部門を中心に2～3年の周期で異動します。係員の期間は多様な経験を積んでいただくことを目的として、採用局以外への転勤もしくは財務省への出向の機会があります。

その後は、主に係員の間経験した部署で専門性を高めながら、係長級・課長補佐級へとステップアップしていきます。

なお、毎年職員から勤務地や部署などの希望を申告する機会があり、異動については、申告のあった希望、能力、適性や業務上の要請などを総合的に勘案して行っています。



研修

造幣局では、公務員として求められる高い能力や資質に加え、全体の奉仕者としての使命感や倫理観を持った人材の育成が極めて重要であるとの認識の下で、職場や職員のニーズに合った様々な研修を実施しています。また、国内外の大学や民間企業への派遣研修も行っています。

◆新規採用職員研修

造幣局の業務についての基本的なことや、仕事を行う上で求められる行動と責任について学びます。また、研修期間中、実際に製造現場における業務を知っていただくことを目的として、本・支局の現場研修を実施しています。採用後約2カ月間の新規採用職員研修を修了した後、各職場に配属となります。

主なカリキュラム

- 業務についての基礎知識
- 社会人の基本として必要なビジネスマナー
- 製造工程での現場研修

◆一般総合研修

一定の勤続年数（3～5年）に達した職員を対象に、職務遂行上求められる基礎的な知識を再確認した上、さらに専門的な知識の習得に努めることを目的として実施しています。

主なカリキュラム

- プレゼンテーション
- アカウンティング・原価計算
- 生産管理・品質管理
- マーケティング

◆監督者研修

造幣局の求める各階層の役割を十分に自覚し、強い責任感を持って仕事に取り組む人材を育成することを目的として、係長、課長補佐、課長等の昇任後に、各役職に求められる能力を養成する研修を実施しています。

主なカリキュラム

- 仕事と人のマネジメント（係長研修）
- 管理・監督者のあり方、部下指導（課長補佐研修）
- 課題設定力・問題解決力（課長研修）
- コンプライアンスに関する研修（全階層）

◆職務能力向上研修

人事労務管理、財務・経理、販売管理及び技術管理等の業務に従事する職員を対象に、職務の専門性を一層高め、能力向上を図ることを目的として実施しています。

主な研修・試験

- ビジネス・キャリア検定試験（労務管理、生産管理等）
- 販売士
- 原価計算、財務諸表分析、簿記
- 貿易実務（英文契約）
- 知的財産権

自己啓発支援

専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、幅広い分野について通信教育による学習活動を支援しています。

主な通信教育講座

- 語学（TOEICテスト実践トレーニング、実用英語講座）
- 資格取得（日商簿記検定、社会保険労務士講座）
- ビジネススキル（問題発見・解決、パソコン等）
- 生産・技術（品質管理、工程管理）

Q&A

採用、就業条件について気になることにお答えします。

Q1

職員の身分は国家公務員ですか。

A

職員の身分は国家公務員です。
造幣局は独立行政法人の中でも行政執行法人に位置付けられています。独立行政法人通則法により、行政執行法人の職員の身分は国家公務員とする旨が定められています。

Q2

国の行政機関における造幣局の位置付けはどのようなものですか。また、行政執行法人とは、何ですか。

A

造幣局は財務省の特別の機関でしたが、平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは、その中でも行政執行法人と位置付けられました。
行政執行法人とは、公共上の事務等のうち、国の行政事務と密接に関連する業務を、国の相当な関与の下に確実にを行うことを目的とした法人です。

Q3

学生時代の専攻が採用にあたって有利・不利になることはありますか。

A

学生時代の専攻が採用に有利・不利になることはありません。造幣局では、人物・能力本位で採用しており、特定の分野に偏ることなく、多様な人材を採用しています。仕事をする上で必要な知識は、日々の業務を通じて習得できるほか、各種研修の機会も準備されているので心配はいりません。

Q4

採用されやすい試験区分はありますか。

A

造幣局は「モノづくり」を中心としているため、大きく区分して、採用数は技術系の試験区分からのほうが行政系よりも多くなっているのは確かですが、試験区分によって採用されやすい、または採用されにくいといったことはありません。入局後も、試験区分によってキャリアパスが限定されることはありません。技術系で採用されても、事務系の業務に携わっている職員も多くいます。

Q5

採用試験前に取得しておく有利な資格はありますか。

A

特に有利な資格はありません。語学力や簿記等の資格があれば、業務の理解や習熟に役立ちますが、配属後には知識習得のための各種研修の機会が用意されています。ここで知識を習得し、その力を発揮していただければ十分です。

Q6

技術系で採用になると、工場の現場で製造作業も経験できるのですか。

A

配属部署によっては、作業の管理、資材等の調達、設備点検、技術指導などの業務を通して、工場等での製造作業に携わる場合がありますが、直接、製造作業に従事することはありません。

Q7

行政系と技術系が一緒に仕事をすることがありますか。

A

貨幣等の製造は、行政系は予算や人員等の組織運営の観点から、技術系は生産管理や製造工程の観点から問題がないことを確認した上で実施していくため、関係部署の連携が不可欠です。何れの職種も協力して業務を行う必要があります。

Q8

転勤や造幣局以外での勤務はあるのでしょうか。

A

採用局以外で勤務する場合があります。また、財務省に出向し、勤務する場合があります。
造幣局では、若手職員の育成方針を定めており、係員の間は、一度は転勤や出向の機会を与えることとしています。

Q9

女性にとって働きやすい職場なのでしょうか。

A

造幣局では、超過勤務の縮減や休暇の取得促進など、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、働きやすい職場環境の整備に努めています。出産後に「育児休業」を取得後復職し、仕事と育児を両立して活躍している女性職員もたくさんいます。

また、女性職員のさらなる登用の拡大に向けて、女性が活躍できる職域の拡大や研修等を通じたキャリア形成支援にも取り組んでいます。

Q10

残業はどの程度ありますか。また、休暇の取得状況はどうか。

A

業務量や業務内容は部署や担当、また時期等によって多様ですので、一概にどの程度ありますと示すことはできませんが、例えば、作業部門では作業計画に基づいた週2日・各2時間の計画残業が実施される場合があり、関連部門においてもそれに対応した勤務体制となることがあります。

平均残業時間 14.6時間（令和6年度）

平均有休取得日数 17.7日（令和7年）

Q11

採用状況はどのようになっていますか。

A

(単位:人)

区分	採用年毎	令和5年			令和6年			令和7年			令和8年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合職	行政、法律、経済			0			0			0	1		1
	工学	1		1	1	1	2			0			0
一般職 (大卒程度)	行政	1	2	3	1	1	2	3	5	8		4	4
	デジタル・電気・電子	1		1	1		1	1		1			0
	機械	2		2	1		1			0	1		1
一般職 (高卒者)	化学		2	2	1		1	2		2	1		1
	事務	1		1		2	2		1	1		1	1
	技術			0	3		3			0	2		2
	総合職	1	0	1	1	1	2	0	0	0	1	0	1
合計	一般職(大卒程度)	4	4	8	4	1	5	6	5	11	2	4	6
	一般職(高卒者)	1	0	1	3	2	5	0	1	1	2	1	3

採用担当者からのメッセージ

造幣局は、通貨制度を支える貨幣を安定的に製造することにより、国の社会的基盤を支える役目を担っています。一口に貨幣の製造といっても、この採用案内で紹介するように関連する業務内容は多岐にわたり、単純ではありません。製造に関わる技術的な業務を専門にする部署もあれば、いわゆる行政的な業務を専門にする部署もあります。造幣局では、採用区分や試験区分等にかかわらず、多様な業務に対応するための人事が行われており、専門性を生かすことも、様々な分野にチャレンジすることもできます。

就職活動中は、どのような業務を志望するか迷うこともあると思います。どんな業務であれ前向きに取り組める方であれば、様々な業務を経験できる造幣局は魅力的な職場だと思いますので、ぜひ一度お越しいただき、雰囲気を感じてください。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

本局総務部 人事課



JAPAN MINT

ACCESS

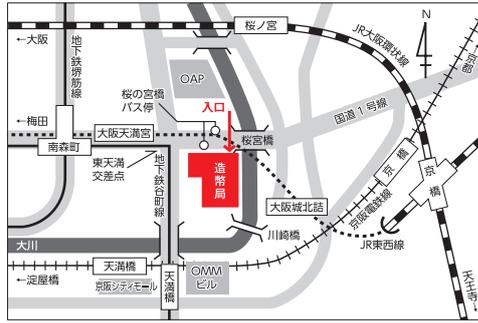


【本局】

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79

TEL 06-6351-5158(直通)

総務部人事課(人事担当)



【さいたま支局】

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-190-22

TEL 048-645-5893(直通)

総務課(人事担当)



【広島支局】

〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央6-3-1

TEL 082-922-2093(直通)

総務課(人事担当)



職員採用情報（造幣局ホームページ）



∥ 各種 SNS にて新製品や桜の通り抜け情報を発信中! ∥



Facebook



YouTube
(@japanmint)



Instagram
(@japanmint_official)



X
(@JapanMint_IAA)